

株式会社丸新製作所

〈生野中支店〉



益山 憲一 社長



1



2



3



4

① 昨年12月に完成の新工場 ② 最新機器を案内する益山社長 ③ 検品作業 ④ 多彩な精密製品

最新機器を駆使して

精密切削加工部品を提供

「会社の紹介」

最新機器を積極的に導入し、真鍮、アルミを専門に精密切削加工を手掛けています。お客さまに喜んでいただけるように「品質と信頼性」を追求し、社会に貢献できる企業を目指して社員一丸となって取り組んでいます。

積極的な設備投資で業績を拡大

ガス機器、住宅設備や電気部品などの多種多彩な精密部品を製造している株式会社丸新製作所。創業は1950年、益山憲一社長の父、喜雄さんが大阪市でボルト・ナット類の金属部品の製造を始めました。その後、真鍮加工を専門分野に技術を高め、積極的に最新の機器を導入しました。「二期、赤字の連続で、新機種の導入は思い切った決断でした。新たな機械を次々と導入することで加工の可能性が広がり、新規受注を獲得できました」と益山社長は語っています。

早めの設備投資が功を奏し、業績を拡大しました。

「鉛レス」材加工のために

新工場建設

同社が得意としているのは、NC自動旋盤などを使った高精度の切削加工。主軸としているガス機器部品の場合、火の出るノズル部分の加工は、マイクロ単位の精度が求められます。この真鍮加工で培ってきた刃物コントロールや切削上の工夫を生かし、柔らかい特性をもつアルミニウムの加工も行っています。また、鉛がRHS（電気・電子機器における特定有害物質使用制限指令）に指定され、真鍮製品を「鉛レス」材に変更する動きがあり、同社ではこれに対応して「鉛レス」材の加工を主体とした新工場を昨年12月に建設しました。

省力化、無人化の工場を
目標に挑戦を

最新機器の導入によって5年前から24時間操業体制を実施。高性能の機器類を100%使いこなすには、社員のプログラミング技術や応用力も必要です。現在、ベトナムやタイからの外国人労働者にも一流の職人を目指して技術を磨いてもらっています。「新工場の玄関ロビーに『感謝』という大きな額をかけた。お客さまや社員への感謝の気持ちを忘れずにこれからも挑戦を続けていきたい」と益山社長。同社の未来像については「省力化、無人化が目標です。次世代の工場経営に向けての準備として、それは欠かせません」と、意欲たっぷりです。

Company Profile

〒577-0835
東大阪市柏田西2-14-25
TEL 06-6728-9066

事業内容

ガス機器部品、バルブ部品、電機部品、各種コックおよび付属部品、自動車・自転車部品、建築金物部品等の精密切削加工

創業 1950年4月
株式会社設立 1999年10月
従業員数 30人
(2024年3月現在)